

令和7年度 ケアフレンズ定期巡回・随時対応型訪問介護看護 外部評価報告、次年度の目標

I 構造評価[適切な事業運営]					
(2)適切な人材の育成					
タイトル	項目番号	項目	自己評価コメント	外部評価コメント	次年度の目標
専門技術の向上のための取り組み	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	毎月のミーティングで課題となる事例を上げ、それに対する検討会を開催。 定期的な法人内研修と、外部の研修に参加している。	(オ)毎回のミーティングの他に検討会、外部研修の機会があり充実している (キ)研修に積極的に参加できています	法人内研修や外部研修には参加できているが、事業所内研修が不十分なので、そこを強化して、より専門性を高めていきたい
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	利用者情報に関しては、適宜連絡を行っている。月に一度のアセスメントをベースに情報共有を行う。	(オ)ミーティングやchatworkが十分機能している (キ)情報共有が大切だと思います	日頃からの看護師との情報共有を密にとれる体制を整えていきたい
(3)適切な組織体制の構築					
介護医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	都度頂いた意見は反映し、サービス提供の検討材料としている。	(オ)適切に反映されている (キ)頂いた意見を大切にしていると思います	この場でいただいたご意見をサービスにより反映できるようにしていきたい
II 過程評価					
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供					
(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成					
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	生活のリズムに着目し、訪問時間の検討は随時実施している。訪問時間以外の状態は家族やケアマネから情報収集しアセスメントに活かしている。	(オ)利用者に合わせて適切な訪問時間を調整している (キ)きちんとできていると感じます	体調や季節の変化で、変わる生活リズムの変化に対して細やかに調整できるように努めたい
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	概ね1回/月の看護アセスメント、日々の介護訪問のアセスメントは随時共有し、ミーティングで確認している。	(オ)毎月のミーティングで情報共有が実施されている (キ)きちんとできていると思います	ミーティングの資料の在り方を再検討し、より話し合いの質を高めていきたい
利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に機軸を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	地域資源及び、家庭環境を活用した、継続可能な計画を作成している。医療依存度を高め過ぎないように看護師と連携している。	(オ)みんなの保健室など近所の地域資源を積極的に活用している (キ)きちんとできていると思います	現状の看護師連携は今の症状からの予測のみとどまっており、短期的な予測になっているが長期的な予測ができるようにしていきたい。

タイトル	項目番号	項目	自己評価コメント	外部評価コメント	次年度の目標
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント					
(1) 共同ケアマネジメントの実践					
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	目標達成のために積極的に提案を行っている。家族の協力を仰ぐ提案はできているが地域のインフォーマルサービスの活用が課題。	(中)包括として、インフォーマルサービス情報の提供ができればと考えます。しかしサービスが少ないのも事実で「こんなサービスがあったら…」という意見も是非頂ければと思います。 (オ)利用者の困り事に応じてインフォーマルな資源を活用しようとする動きはある (キ)利用者のことを考えて取り組んでいると思います	適切に活用できるよう、利用者様のお住まいの地域に応じた情報収集に努め、提案につなげたい
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画					
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案					
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	パンフレットや、定期巡回の効果的な活用事例の書面を使用した周知、定期巡回をよりしってもらうための勉強会を居宅支援事業所に出向いて実施している。	(中)地域の事業所連絡会等への参加で周知をしてもらうのもいいと思います。 (オ)行われている	具体的な事例を通し、わかりやすい説明ができるようにしたい。積極的に連絡会等にも参加したい
Ⅲ 結果評価					
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	頻回な訪問により在宅生活が安定し、計画目標の達成が図れた。	(オ)達成が図れているといえる	